



映画のチカラで、森を元気に。

6月5日に開催された映画「道～白磁の人～」×「フォレスト・サポーターズ」東北復興支援「映画のチカラで、森を元気に。」キャンペーン記者発表・特別試写会では、皆川芳嗣林野庁長官から浅川巧役の吉沢悠さんに推薦状が手渡され、吉沢さんからはキャンペーンのシンボルである「木のうちわ」が皆川長官に手渡されました。



美しい森林づくり推進国民運動



小説「白磁の人」映画製作委員会の皆さん
 前列左から、坂本浩子さん、代表・長坂絢司さん、
 事務局長・小澤龍一さん
 後列左から、土屋雅光さん、古谷健一郎さん

小説「白磁の人」映画製作委員会

森をささえよう

映画「道～白磁の人～」は、浅川巧の生誕120周年を記念し、その功績を伝えたいという思いから製作しました。激動の時代を生きた彼の姿には、東日本大震災を経験した今だからこそ学ぶべき点

が多いのではないのでしょうか。「映画のチカラで、森を元気に。」は、フォレスト・サポーターズとのコラボレーションで行っている東北復興支援キャンペーンです。本キャンペーンは、東日本大震災の大津波で失われた1000ヘクタールを超える海岸林の再生や、東北地方の豊かな森林の恵みを活かす知恵や技、そして風土の再生と復興に貢献することを目的に、映画が公開された今年6月にスタートし、12月末まで続けていく予定です。

棺を担いだと伝えられています。 映画「道～白磁の人～」は、浅川巧の生誕120周年を記念し、その功績を伝えたいという思いから製作しました。激動の時代を生きた彼の姿には、東日本大震災を経験した今だからこそ学ぶべき点

具体的活動としては、まずキャンペーンの特設サイトを公開して、浅川巧の林業技術者としての功績とキャンペーンの趣旨・概要を紹介するとともに、より多くの方に映画とキャンペーンについて知っていただけるよう、特別試

森と暮らそう

浅川巧は明治24年(1891年)、山梨県北巨摩郡甲村(現在の北杜市高根町)に生まれました。大正3年(1914年)に朝鮮半島に渡って林業試験所の研究員となり、昭和6年(1931年)に亡くなるまで、林業に関する多くの優れた研究を行うとともに、白磁をはじめとする、かの地の陶磁器や民芸品の魅力を世に知らせました。韓国併合という時代の中にあつて、民族の隔てなく接する誠実な人柄が慕われ、ソウル郊外に葬られる際には、豪雨の中、人々が競って棺を担いだと伝えられています。

「映画のチカラで、森を元気に。」は、フォレスト・サポーターズとのコラボレーションで行っている東北復興支援キャンペーンです。本キャンペーンは、東日本大震災の大津波で失われた1000ヘクタールを超える海岸林の再生や、東北地方の豊かな森林の恵みを活かす知恵や技、そして風土の再生と復興に貢献することを目的に、映画が公開された今年6月にスタートし、12月末まで続けていく予定です。

林野庁推薦 映画「道～白磁の人～」は、林業技術者として朝鮮半島に渡り、荒廃した山々の緑化に努めるとともに、朝鮮民芸を研究し、世間に広く紹介した山梨県出身の浅川巧の半生を描いた作品です。映画が公開された今年6月からフォレスト・サポーターズとのコラボレーションによる東北復興支援「映画のチカラで、森を元気に。」キャンペーンをスタートした映画製作委員会の皆さんにお話をうかがいました。

フォレスト・サポーターズ

4つのアクション 活動紹介



山梨県で撮影されたヤマナシの巨木のある映画の冒頭シーン。



東北復興チャリティに協力いただいた方に配布されているオリジナルグッズ「木のうちわ」。描かれているのは、浅川巧が移植した樹齢120年のアカマツ。



生活の中に息づく白磁の美しさにしだいに惹かれていく主人公。(映画より)



荒廃した山々の緑化に取り組む浅川巧とイ・チョンリム。(映画より)



今日からやろう! 森のための 4つのアクション

森にふれよう

木をつかおう



【ストーリー】

1914年、日本が韓国を併合してから4年後の朝鮮半島。

日本人「浅川巧」と朝鮮人「イ・チョンリム」は、林業技師として荒廃した山々を緑に戻すため、ともに歩き、語り合い、友情を育んでいくが…。

●キャスト：吉沢悠 ベ・スピン 酒井若菜 石垣佑磨 塩谷瞬 黒川智花 今野成美 チョン・ダヌ チョン・スジ 市川龜治郎 堀部圭亮 田中要次 大杉漣 手塚理美

●監督：高橋伴明 原作：江宮隆之「白磁の人」河出文庫刊

●全国ロードショー公開中

●「映画の手カラで、森を元気に。」キャンペーン特設サイト

<http://hakujinohito.com/forest/>

●映画「道～白磁の人」公式サイト

<http://hakujinohito.com/index.html>

岸防災林再生等を行う「緑の募金」

また、浅川巧役を演じた吉沢悠氏、林業試験所の上司・町田役を演じた田中要次氏もフォレスト・サポーターズの一員となりました。今後、テレビ・雑誌等の各媒体でのインタビュー等、森林づくり・木づかいに関する情報発信を行っていく予定です。

写会や記者発表、地方記者向けのオンライン試写会を開催しています。6月には浅川巧の故郷の風景に親しめる山梨県北杜市にある山梨県立まきば公園で映画関係者の皆さんとともに記念植樹を行いました。7月には浅川巧の「自然に学ぶ、地域に学ぶ」人生、木工芸品等の「民芸」の視点に学ぶことの大切さをテーマとしたトークショーを開催しました。

映画が上映される劇場では、海

また、浅川巧役を演じた吉沢悠氏、林業試験所の上司・町田役を演じた田中要次氏もフォレスト・サポーターズの一員となりました。今後、テレビ・雑誌等の各媒体でのインタビュー等、森林づくり・木づかいに関する情報発信を行っていく予定です。

（東日本大震災復興事業）へのチャリティを行い、募金された方には東北産の間伐材を使ったグッズを配布しています。また、インターネット上での「壁紙募金」も実施しています。

映画の冒頭、主人公が友人とともにヤマナシの巨木の前で故郷に別れを惜しむシーンはCGではなく、実際に山梨県で撮影された映像です。ご覧になった方は、ぜひ実際にこの森林にだけかけ、映像ではない本当の美しい森林を楽しんでください。